

高円宮妃杯 JFA 第 31 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会東海大会
大会要項

1. 趣旨 東海サッカー協会は、東海地区における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学生年代の登録選手を対象とした大会として実施する。
2. 名称 高円宮妃杯 JFA 第 31 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会東海大会
3. 主催 一般社団法人 東海サッカー協会
4. 主管 一般財団法人岐阜県サッカー協会
5. 協賛 株式会社モルテン

6. 日程・会場

2026 年 11 月 7 日（土） 1 回戦

マッチNo.①・② 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 A（天然芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

マッチNo.③・④ 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 B（人工芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

11 月 8 日（日） 2 回戦

マッチNo.⑤・⑥ 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 A（天然芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

マッチNo.⑦・⑧ 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 B（人工芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

11 月 14 日（土） 準決勝

マッチNo.⑨・⑩ 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 B（人工芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

11 月 15 日（日） 決 勝・3 位決定戦

マッチNo.⑪・⑫ 岐阜県フットボールセンター多目的運動場 B（人工芝）

〒501-6032 岐阜県羽島郡笠松町江川堤外

11 月 22 日（日） 〈予備日〉

7. 参加資格

- (1) 本大会に出場するチームは、大会実施年度に本協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2) 本大会に出場するチームの役員のうち、少なくとも 1 名は本協会公認「C 級コーチライセンス」以上の保有者であること。
- (3) 2011 年(平成 21 年)4 月 2 日から 2014 年(平成 26 年)4 月 1 日までに生まれた女子選手であり、2026 年 10 月 24 日(金)までに本協会に登録(追加登録も含む)されていること。

(4) クラブ申請制度の適用

本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手（複数人可）については、所属チームから移籍することなく、上記（1）のチームで参加することができる。ただし、参加する選手については、以下のすべてを満たしていること。

- ① 上記（3）を満たしていること。
- ② 下記種別区分のチームに所属していること。

参加チームの種別区分	同一「クラブ」内の登録種別区分
WE リーグ・なでしこリーグ・一般・大学	高校・クラブ（高校生）・中学・クラブ（中学生）・（男子）2種・（男子）3種
高校・クラブ（高校生）	中学・クラブ（中学生）・（男子）3種

- ③ 本大会の予選を通して、他のチームで出場していないこと。

(5) 移籍選手：：本大会の予選を通して、選手は他のチームで出場していないこと。

(6) 合同チーム：主体となるチームの選手数が16名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。

- ① 主体となるチームおよびその選手は、それぞれ上記（1）～（3）を満たしていること。
- ② 合同するチームの選手は、上記（3）を満たしていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。但し、本大会の予選を通して、選手は他のチームで参加（参加申込）していないこと。
- ③ 極端な勝利目的のための合同チームではないこと。
- ④ 合同チームとしての参加を当該県サッカー協会女子委員長が別途了承すること。
- ⑤ 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、主体となるチームが行う。

8. 参加チームとその数

参加チームは、次により選出された12チームとする。

- ・岐阜 1チーム、三重 1チーム、愛知 2チーム、静岡 1チーム
- ・2026年度東海リーグ7チーム（2位～8位）

なお、組み合わせは本協会において抽選を行い決定する。

9. 大会形式 ノックアウト形式 ※組み合わせ別紙参照

10. 競技規則 大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」2026/2027による。

11. 競技会規定 以下の項目について本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド フィールド表面は平坦で常緑な天然芝または人工芝であり、ピッチサイズは原則105m×68m。
- (2) ボール 試合球はモルテン社製ボール『ヴァンタジオ 4900 芝用 5号（品番：F5N4900）』とする。マルチボールシステムを採用する。
- (3) 競技者の数および交代回数
 - ① 競技者の数：11名 交代要員の数：7名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内
 - ② 交代を行うことができる数：5名以内
 - a. 試合中の交代は、各チーム最大3回とする。（1回に複数人を交代することは可能）。
ハーフタイムの交代は回数に含まれない。

- ③ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。
- a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
 - b. チームが「脳振盪による交代」を行うこととした場合、交代カードに「脳震盪による交代」とわかるよう明記し、主審/第4の審判員に知らせる。
 - c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、追加交代および通常交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。
 - e. 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
 - f. 「脳震盪による交代」は、その前に交代要員が使われているかに関わらず行うことができる。
 - g. 「脳震盪による交代で入る交代要員」は、交代で退いた競技者であっても交代で競技者になることができ、その前に何人の交代が行われているかに関わらず、いつでも交代して出場することができる。

(4) ベンチ役員：ベンチ入りできる役員の数6名

(5) テクニカルエリア：設置する

戦術的指示はテクニカルエリア内から都度1名が伝えることができる。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

- a. 本協会の「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- b. 以下のいずれかに該当するチームは、各リーグのユニフォーム要項で認められたユニフォームであれば、本大会でも使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。

チーム	適用されるユニフォーム要項（リーグ）
Jクラブ傘下のチーム	公益財団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）

この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備できる場合のみ使用を認められる。

- c. フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）を用意のうえ、参加申込の際所定の様式にて提出し、各試合には正副両方を必ず携行すること。
- d. 各試合で使用するユニフォームは、チーム都合による変更は認められない。両チームは試合当日、正副のユニフォーム現物を持参し、審判員立会いのもと確認を行う。その際、審判員が判定に影響があると判断した場合には、使用するユニフォームを変更することができる。
- e. シャツの前面・背面に、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- f. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締め切り後の変更は認めない。
- g. ユニフォームへの広告表示については、本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- h. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

(5) キャプテンアームバンド 競技規則で定められたアームバンドを、各チームで用意して着用する。

(6) 試合形式

① 試合時間：80 分（前後半各 40 分）

② ハーフタイムのインターバル（前半終了～後半開始）：原則 10 分間

③ 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

1 回戦～決勝：P K 戦により勝者を決定する。P K 戦に入る前のインターバル：1 分間

④ アディショナルタイムの表示：行う

(7) その他

① 第 4 の審判員の任命：行う

② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

③ メンバー提出用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。

a. 先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。

b. 控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込をした 30 名の中からとする。

④ 本大会は「サッカー競技規則」に記載の「キャプテンオンリー」ガイドラインを実施する。

12. 懲罰

(1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

(2) 大会規律委員会の委員長は、一般社団法人東海サッカー協会規律委員長とし、委員については、東海女子委員長、各県女子委員長とする。

(3) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手および役員は、次の 1 試合に出場できない。

(4) 本大会において退場を命じられた選手および役員は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

13. 大会参加申込

(1) 1 チームあたり 36 名（選手 30 名、役員 6 名）を最大とする。参加申込した最大 36 名の役員・選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大 18 名・役員最大 6 名をエントリーする。

(2) 外国籍選手は 5 名まで参加申込でき、各試合で 3 名までエントリーできる。

(3) **参加申込提出期限：2026 年 10 月 23 日（金）**

申込先：下記申込先までメールにて申し込むこと。また、選手証データも併せて提出すること。

(4) 参加申込提出以降の選手の変更は認めない。ただし役員の変更は可能とする。

15. 大会参加料（振込み）

各チーム 30,000 円を、10 月 23 日（金）までに下記口座にお振込みください。

【振込先】

十六銀行 則武支店 1322600

名義「一般財団法人 岐阜県サッカー協会 女子委員長」

※ チーム名で振り込み ※ 振込手数料はチーム負担

16. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うものとする。

17. 選手証

本協会登録および本大会に参加申込を完了した選手のみが試合に出場する権利を有する。

各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証を持参しなければならない。

ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

18. 表彰

(1) 上位 3 チームに表彰状を授与する。

(2) 上位 3 チームは、2026 年 12 月 5 日（土）～12 月 27 日（日）に行われる全国大会に出場する権利を得る。

19. 試合の延期・途中中止の決定について

a. 延期は、東海女子委員会で協議の上、決定する。

b. 途中中止は、大会事務局及び主審で協議の上、決定する。

c. 途中中止なった場合は下記のとおりとする。

試合の状況	中止になった時間帯		
	前半の内	ハーフタイム	後半の内
同 点	再開試合	再開試合	再開試合
1 点差以上	再開試合	試合成立	試合成立

d. 再開試合でのメンバー変更を認める。

e. 警告・退場の処分は規定どおりとし、当該試合においては選手の補充はできない。

f. 再開試合において更に途中中止が発生した場合は、東海女子委員会で協議の上決定する。

20. その他

(1) 試合の 90 分前に代表者会議を行う。その時に、ユニフォーム確認を行う。

(2) メンバー票は試合開始前 70 分までに本部へ 3 部提出する。

(3) 東海 U-15 女子リーグ 1 位のチームは東海第 1 代表として全国大会に出場する権利を得る。

(4) 熱中症対策、落雷事故防止対策等は、原則『JFA 熱中症対策ガイドライン』『JFA サッカー活動中における落雷事故防止対策について』に基づく。

(5) 大会要項に規定されていない事項については本協会にて協議の上決定する。

21. 宿泊について

大会にて斡旋は行いませんので、各チームで手配をお願い致します。

22. 大会申込み・問い合わせ先

高円宮妃杯 JFA 第 31 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会東海大会

大会実行（一財）岐阜県サッカー協会 女子委員長 木戸脇 弘

携帯：090-7913-1453 E-mail：dm_jgpd@yahoo.co.jp